



## とにかくよく咲く ロシアンセージ ジェレナ

### 特徴

従来品よりもコンパクトな樹形で、まとまりが良く美しい草姿。

涼しげなラベンダーブルーの花が、初夏から秋まで咲き、爽やかなアロマの香りも楽しめます。

### 用途

鉢植え、地植え、寄せ植え

### 開花期／関東基準

**初夏から晩秋まで**

晩夏に切り戻しをすると、秋遅くまで長く花が楽しめます。

草丈は、1年目は40～50cm位、2年目は50～60cm位になります。

### 植え付け・用土

鉢植えの場合

→ **7～8号鉢**がおすすめ

用土は、排水がよく緩効性の元肥が入っている物がよいでしょう。

地植えの場合

→ **日当たりと水はけのよい場所**を選びましょう

地植えの場合は日当たりと水はけのよい場所を選び、堆肥や緩効性肥料を入れて耕して植えつけるとよいでしょう。



## **置き場所：風通しのよい場所に**

鉢植えは、日当たりと風通しを好むので、**1日5～6時間位は日が当たる場所**が良いでしょう。日当たりが悪いと伸びやすくなるので注意しましょう。

## **耐暑性：夏越し**

夏の暑さや乾燥には強いですが、多湿(蒸れ)にはやや弱いので、鉢植えは水のやり過ぎに注意しましょう。

## **水やり：乾いてからタップリと**

鉢植えは、表面の用土が乾いてから、タップリと水やりをしましょう。乾いてない状態で少しずつやるのは良くありません、**乾いたらタップリ**が基本です。

**地植えは、最初にタップリと水やりをしておきましょう。**

活着するまでに雨が降らない場合には、再度水やりをしましょう。

その後の水やりは不要ですが、雨が降らないで乾いている場合には、水やりをするとよいでしょう。

**冬**、地上部が枯れても根は生きています。完全に乾いてしまうと枯れてしまいますので、表面の用土が乾いたら軽めに湿る程度の水やりをしましょう。

## **追肥**

初夏の植え付け時に緩効性肥料が入っていれば、秋までは必要ありません。

また、秋に良い花を咲かせるために、**9月中旬頃**に追肥をしましょう。

## **お手入れ**

咲き終わった花穂は、その都度、その下の節の上でカットするか、あるいはもう少し低い位置ではカットしておきましょう。特に混み合ってきたら、蒸れないように低い位置でカットしておくともよいでしょう。

**9月上旬**の晩夏に、全体を切り戻しをしておく、秋遅くまで咲き続けます(関東基準)

## **耐寒性：冬越し**

**冬は地上部がほぼ枯れるか、あるいは株元に冬至芽で越冬します。**

植物の耐寒性は強く、マイナス20℃位は全く問題ありません。初冬に花が全部咲き終わったら、そのまま冬越ししてもいいですし、草丈の半分位カットしておいてもよいでしょう。

寒冷地の鉢植えは、用土まで凍るようならば、軒下へ入れるか、鉢部分だけ保温剤を巻いてもよいでしょう。

関東以西は鉢のまま戸外へ置いて大丈夫です。

＊早春に新芽が動き出す前(関東ならば)3月上旬に冬至芽を傷つけないように古い茎を地際で切っておきましょう。

大きく育ってきたら、4月頃に軽く追肥をしておく、5月中下旬に、再びキレイな花が咲いてきます。(関東基準)